

令和3年度 第2次募集の選抜・評価方法

学校番号 85

千葉県立佐原高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次の全てを満たす生徒

- ア 学習成績が優秀である
- イ 学校生活全般に意欲的に取り組む

2 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 作文	字数：500字以上600字以内 検査時間：50分
(3) 面接	個人面接

3 評価項目及び評価基準

(1) 調査書 [150点満点]

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	第3学年の欠席日数が30日以上、または3年間の欠席日数の合計が50日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	生徒会活動への積極的な取組、英語検定・漢字検定・数学検定での準2級以上の取得、部活動で特に優れた実績を有すると認められる記述については加点（上限15点）する。

(2) 作文 [30点満点]

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aaa～ccc）で得点化する。評価cが6つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 文章の量・字・構成	適切な文章量で、誤字がない。また、わかりやすい構成になっている。
イ 論旨・主張	論旨・主張が明確である。
ウ 表現力	文章表現が豊かである。

(3) 面接 [30点満点]

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aaa～ccc）で得点化する。評価cが6つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 面接に臨む態度	礼儀正しい態度で、適切な受け答えができる。
イ 質問に対する応答	自分の考えや主張を明確に表現し、質問に対して的確に答えている。
ウ 高校生活への意欲	高校生活における目標を具体的に述べられる。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「作文の得点」及び「面接の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。ただし、作文または面接の評価で評価cが付いている場合は慎重に審議する。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点		作文の得点	面接の得点	総得点
評定	加点			
135点	15点	30点	30点	210点

(2) その他

- ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいしない。
- イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面接を行う。

令和3年度 第2次募集の選抜・評価方法

学校番号 85

千葉県立佐原高等学校 全日制の課程 理数科

1 期待する生徒像

次の全てを満たす生徒

- ア 学習成績が優秀である
- イ 学校生活全般に意欲的に取り組む
- ウ 理数系分野への興味・関心が特に強い

2 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 作文	字数：500字以上600字以内 検査時間：50分
(3) 面接	個人面接

3 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔150点満点〕

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	第3学年の欠席日数が30日以上、または3年間の欠席日数の合計が50日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	生徒会活動への積極的な取組、英語検定・漢字検定・数学検定での準2級以上の取得、部活動や科学展で特に優れた実績を有すると認められる記述については加点（上限15点）する。

(2) 作文〔30点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aaa～ccc）で得点化する。評価cが6つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 文章の量・字・構成	適切な文章量で、誤字がない。また、わかりやすい構成になっている。
イ 論旨・主張	論旨・主張が明確である。
ウ 表現力	文章表現が豊かである。

(3) 面接〔30点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aaa～ccc）で得点化する。評価cが6つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 面接に臨む態度	礼儀正しい態度で、適切な受け答えができる。
イ 質問に対する応答	自分の考えや主張を明確に表現し、質問に対して的確に答えている。
ウ 高校生活への意欲	高校生活における目標を具体的に述べられる。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「作文の得点」及び「面接の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。ただし、作文または面接の評価で評価cが付いている場合は慎重に審議する。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点		作文の得点	面接の得点	総得点
評定	加点			
135点	15点	30点	30点	210点

(2) その他

- ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。
- イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面接を行う。